

第 72 回国民体育大会冬季大会の開催について

スポーツ課

1 大会の概要

(1) 主催

(公財)日本体育協会、文部科学省、長野県、競技団体、開催市町村

(2) 競技別

	スケート競技会	アイスホッケー競技会	スキー競技会
主催	(公財)日本スケート連盟、長野市	(公財)日本アイスホッケー連盟、岡谷市、軽井沢町	(公財)全日本スキー連盟、白馬村
会期	平成 29 年 1 月下旬～2 月上旬(5 日間)		平成 29 年 2 月下旬(4 日間)
競技種目	スピードスケート、ショートトラック、フィギュアスケート	アイスホッケー	ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、コンバインド、クロスカントリー
参加人員	約 1,050 人(選手監督 750 人、大会役員 300 人)	約 950 人(選手監督 650 人、大会役員 300 人)	約 2,450 人(選手監督 1,900 人、大会役員 550 人)

(3) 競技会場

競技種目	競技会場(予定)	
スケート	スピードスケート	長野市オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)
	ショートトラック	長野市若里多目的スポーツアリーナ(ビッグハット)
	フィギュアスケート	
アイスホッケー	やまびこスケートの森アイスアリーナ(岡谷市) 軽井沢風越公園アイスアリーナ	
スキー	ジャイアントスラローム	白馬村(会場は調整中)
	スペシャルジャンプ	白馬ジャンプ競技場
	コンバインド	白馬ジャンプ競技場 白馬クロスカントリー競技場(スノーハープ)
	クロスカントリー	白馬クロスカントリー競技場(スノーハープ)

2 経過

- H26.7.18 (公財)日本体育協会及び文部科学省が長野県での開催を要請
- H26.9～12 長野市、岡谷市、軽井沢町及び白馬村が長野県での開催を要望
- H26.12.1 (公財)長野県体育協会及び県内競技団体が長野県での開催を要請
- H26.12.5 長野県議会において、長野県での大会開催を決議

3 今後の予定

- H26.12.19 部局長会議において長野県での開催を決定
- H26.12 月 (公財)日本体育協会会長及び文部科学大臣あてに、長野県知事・長野県教育委員会教育長・(公財)長野県体育協会会長の連名で「開催受諾書」を提出
- H27.1 月 (公財)日本体育協会理事会において長野県での開催を決定
- H27 年度 第 72 回国民体育大会冬季大会準備委員会設立
- H28 年度 同 実行委員会設立



第 26 回体協国体発第 75 号
26 受文科ス第 629 号

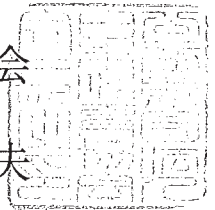
開 催 要 請 書

長 野 県 教 育 委 員 会 殿

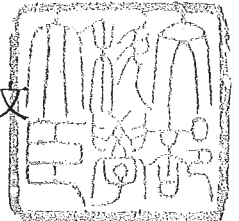
平成 29 年の第 72 回国民体育大会冬季大会を長野県において開催していただきたく、ここに要請いたします。

平成 26 年 7 月 18 日

公益財団法人 日本体育協会
会 長 張 富士夫



文部科学大臣 下村 博文



第72回国民体育大会冬季大会の
開催に関する決議

本県は、平成10年（1998年）の長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催地として世界的にも知名度が高く、我が国のウィンタースポーツの中心地である。

昨年9月には、平成32年（2020年）のオリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定し、県民のスポーツに対する関心は一層の高まりを見せており、さらには、本年2月にロシアのソチで開催されたオリンピック・パラリンピック冬季競技大会における本県関係選手をはじめとした日本選手団の活躍は、県民に大きな感動と夢を与えたところである。

このような中で、本県において、国民体育大会冬季大会を開催することは、スポーツ振興にとどまらず、県民の健康増進や青少年の健全育成などにも大きく寄与するものである。

よって、本県議会は、平成29年の第72回国民体育大会冬季大会を本県で開催することを強く要望する。

以上のとおり決議する。

平成26年（2014年）12月5日

長野県議会